

2019年 調布稲門会 総会  
講演者 紹介

早稲田大学 先端生命医科学センター・総合機械工学科

梅津光生教授



演題：「早稲田大学の先進医療への挑戦」

経歴

- 1951年 神奈川県に生まれる
  - 1979年 早稲田大学院博士課程修了  
国立循環器病センター研究所初代研究員
  - 1988年 シドニー・ビンセント病院工学部長  
(初代オーストラリア人工心臓プロジェクトリーダー)
  - 1992年 早稲田大学理工学部教授
  - 1993年 ニューサウスウェールズ(シドニー)客員教授併任
  - 2000年 早稲田大学大学院生命理工学専攻初代主任
  - 2008年 TWIns(東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学  
研究教育施設) オープン
  - 2010年 東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院 初代専攻長
  - 2018年 早稲田機友会会長(会員3万人)
- 趣味：テニス、旅行、鉄道(稲門鉄道研究会 前会長)

早稲田大学 歴史館

「進取の精神」エリア

WABOTの隣のパネル

「時代を切り拓いた偉業」で紹介

人工心臓

土屋喜一

東京女子医科大学との医工連携により  
1967年流体素子駆動補助心臓で90分  
間の生存に世界で初めて成功

梅津光生

東京女子医科大学等との共同開発の主力メンバーとして2005年に日本製の  
小型補助心臓第1号の体内埋め込み手術に成功、現在までに200例使用。

